

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

心理状態の客観的把握とフィードバック手法の確立による生きがい・働きがいのある社会の実現

3. 研究開発課題名

疲労負債ダイナミクスの理解に基づく健康増進介入法の最適化

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

水野 敬（理化学研究所生命機能科学研究センター 上級研究員）

5. 評価結果

評点： A（優れている）

総評：

本研究開発課題は、国民に広く普及しているモバイル端末を使って日々の疲労負債を計測、提示し、慢性疲労を克服して「生きがい・働きがい」のある未来社会を目指すものである。

探索研究期間では、日常生活における計測試験を実施し、取得データ群の多変量解析等を通して、個々人の認知機能との関連性に基づき疲労負債の程度を評価可能な可視化モデルを開発したことを評価する。

また、フィードバック手法の確立については、疲労負債の予測モデルの開発も着実に進められ、優れた成果が認められた。

今後は、可視化モデルや予測モデルの精度向上に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上